

日本災害復興学会 2016 石巻大会公開シンポジウムでコーディネーターをつとめました (2016/10/02)

テーマ：震災伝承，防災教育，若者
場所：石巻専修大学（宮城県石巻市）

10月2日（日），石巻専修大学を会場として，日本災害復興学会の主催，石巻専修大学の共催による「日本災害復興学会 2016 石巻大会公開シンポジウム『被災地から未来へ～子どもたちと考える復興～』」が開催されました。本公開シンポジウムは，日本災害復興学会 2016 石巻大会が石巻専修大学で開催されるに当たり，同テーマで市民にも公開されるかたちで開催されたものになります。当日は，全部で約 150 名の参加がありました。

シンポジウムは，第 1 部と第 2 部に分けての構成となりました。第 1 部は「東日本大震災発生当時小中学生だった語り部 3 名からの報告」ということで，被災経験をもった，現在高校生・大学生の語り部が行われました。第 2 部は「パネルディスカッション～第 1 部の報告を受けての議論」ということで，第 1 部で登壇した 3 名の若手語り部から復興に関する「要望・質問・疑問」を提示してもらい，それに対してプロの大人が回答をしつつ，相互に議論を行う形式で行われました。パネリストとして，東松島市・阿部秀保市長，京都大学防災研究所・矢守克也教授，NPO 法人 KIDS NOW JAPAN・佐藤敏郎事務局長，福島大学ふくしま未来学推進室・北村育美氏といった様々な分野・年代層からの観点で，若者の要望・質問・疑問に答えていただきました。パネルディスカッションでは，当研究所の佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）がコーディネーターをつとめ，ディスカッションの進行と経過のまとめを行いました。



パネルディスカッションの様子



佐藤翔輔助教

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）